

リハビリテーション治療学特講

[講義] 第1学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 才川悦子 柳田早織

【概要】

発声発語障害の病態、診断、治療に関する臨床的知見を研究的な観点から評価考察するために、障害学における先端的話題について論文講読を中心に学習する。

【学修目標】

1. 発声障害の病態、診断、治療に関する最新の知見と先端の臨床研究の方向性を説明できる。
2. 構音障害の病態、診断、治療に関する最新の知見と先端の臨床研究の方向性を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の進め方を説明し、講読すべき文献の提示と履修のポイント確認の上で、今後の講義計画を調整する。	才川悦子 柳田早織
2) 7	発声発語障害の医学的側面	発声発語障害の検査法、病態、治療に関する先端の論文を提示し、教員とともに講読する。 最終回にはレポートを提出する。	才川悦子
8) 13	発声発語障害のリハビリテーション的側面	リハビリテーションの側面から発声発語障害の検査法、病態、治療に関する先端の論文を提示し、教員とともに講読する。 最終回にはレポートを提出する。	柳田早織
14) 15	まとめ	提出されたレポートに関するディスカッションを行う。	才川悦子 柳田早織

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート 100%（才川担当分、柳田担当分）

【教科書】

適宜論文を指示する。

【学修の準備】

課題論文の精読理解の上講義にのぞむこと（120分）。